

石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ <http://www.senshu-u.ac.jp/shimonaki/>

代表電話番号
**0225
(22) 7711**
広報専用FAX
**0225
(22) 7809**

キャンパス内全天候型陸上競技場 400メートルトラック新設

キャンパス内の全天候型陸上競技場に400メートルトラックが新設された。従来の赤色の300メートルトラックの外周に設置された新トラックは、青色で直走路6レーン、曲走路4レーン。表層部分は、国際陸上競技連盟認定舗装材の全天候型舗装材「トップエースCB」が使用されている。ゴムチップ層とウレタン層の複合タイプで、厚さは13

ミ。適度なクッション性と反発力が安定した走行性を実現し、腰やひざへの負担を軽減する。授業や課外活動など、大学の教育活動施設として活用されるほか、地域に開かれた大学という本学の特色を生かし、市民のスポーツ活動の場としても提供される。

8月30日にはオープンングセレモニーがあり、坂田隆学長、山崎省一人間学部長(陸上競技部顧問)、指方研二学生部長ら本学関係者、境直彦石巻市教育委員会教育長、針生聡宮城県陸上競技協会副会長ら来賓が参列。代表者によるテープカットが行われた。

引き続き、地元の小・



従来のトラックの外周に新設された400メートルトラック



▲ 泉田監督が子どもたちを指導(楽しく走ろう教室)

中学生を対象とした記念イベント「楽しく走ろう教室」が実施された。参加者たちは、本学女子競

走部の泉田利治監督の指導を受けながら、新しいトラックの感触を確かめた。大学・高専の部で、

女川で海洋生物学実習

3年次生25人が参加

理工学部生物科学科のム部(女川フィールドセンター)を拠点に活動。「海洋生物学実習」が9月2日から4日まで、宮城県女川町で実施された。海洋生物コースで学ぶ3年次生25人が参加。3年次生たちは、佐々木洋教授、松谷武成教授、太田尚志教授と実習補助の4年次生5人の指導を受けながら活動した。女川湾では乗船実習が行われ、船上で海洋観測と生物採取を体験。潮の満ち引きで水深が変化する小乗浜の潮間帯では、動物の鉛直分布を調査した。



▲ 乗船実習で生物採取に取り組む学生たち

八重柏わかさん(岩手県一関第一高)は「乗船実習を通して、海のさまざまな生物を多方面から観察することができまして、船上での作業は初めてで、少しきついくところもありましたが、とても楽しく、充実した実習でした。この貴重な体験で学んだことを、今後の研究に生かしていきたい」と話した。

日本学術振興会が主催する「ひらめき☆ときめきサイエンス」の一環として、理工学部の中川爾助教が、高校生を対象としたプログラム「花のかたちはどう決まる? 遺伝子から迫る花のデザイン」(8月9日、本学5号館)を開催した。



▶ 遺伝子の影響を説明する中川助教

2015
石鳳祭

メインテーマ **咲(さく)**

10/10(土)
※ホームカミングデーを同時開催

11(日)

フリーライブ(10日)にお笑い芸人「**ゴー☆ジャス**」が登場。
石鳳祭LIVE(11日)のゲストはガールズバンド「**Silent Siren**」。

・石鳳祭HP～2015～
・石鳳祭実行委員会2015(Twitter)
で最新情報を公開中!!

運行路線変更

本学が運行する「自宅通学サポートバス」の路線が、9月24日(後期授業開始日)から変更となる。

5月30日のJR仙石線全線開通、JR仙石東北ライン新規開通を受け、東日本大震災後から追加運行されていた多賀城便、鹿島台便の運行を停止。今後は震災前と同じ4便(県北便、古川便、一ノ関便、北上便)に戻る。各便の運行ダイヤは、本学ホームページ、学内掲示板などでご確認ください。

自動車工学コース・2研究室

競技会で成果試す



▲ 山本研究室(前列左端が山本教授)



▲ 川島教授(左端)と学生たち

理工学部機械工学科の自動車工学コースで学ぶ学生たちが、2つの大会に参加し、日ごろの研究の成果を試した。

山本憲一研究室の学生10人は、自動車技術会東北支部学生自動車研究会主催「第26回手作り自動車省燃費競技大会」(9月5日、仙台市・宮城県運転免許センター)に出場。大学・高専の部で、

この大会は、自作のガソリン自動車で会場(1周6333m)を規定時間内に20周し、残った燃料を計測。燃費消費量の少なさを競う。代表の津田尚彦さん(4年次・宮城県村田町・スポーツランド菅生)に出場した。

この大会は自作の電気自動車で、1周3・7キロのコースを2時間で何周できるか周回数を競う。

48・69キロと優勝した昨年の255・95キロを大きく上回ることができた」と手応えを語った。

川島純一研究室の学生9人は「2015電気自動車エコラン競技大会」(8月23日、宮城県村田町・スポーツランド菅生)に出場した。

この大会は自作の電気自動車で、1周3・7キロのコースを2時間で何周できるか周回数を競う。

科学の祭典 2015石巻 子どもたち楽しさ体験



▲ 学生のサポートを受けながらプログラムに挑戦

開催された。子どもたちを中心に延べ約1100人が来場し、さまざまな実験を通して、科学の楽しさを体験した。

同祭典は全国各地で開催されており、本学では2001年に初開催された。

15回目となる今回は、宮城県内の小中高校、大学や研究機関などが38タイトルの実験・工作教室を展開した。

本学からは理工学部の教員や学生が、「ロボットのプログラムを組んで迷路をクリアしよう」(情報電子工学科)や「ヒゲカビってどんなカビ?」(宮崎厚研究室)など趣向を凝らした6つの実験を用意。子どもたちは学生の手ほどきを受けながら実験を楽しみ、発見や驚きに興奮した様子だった。

「青少年のための科学の祭典2015石巻大会」(主催・青少年のたの科学の祭典)が8月9日、本学キャンパスで

「青少年のための科学の祭典2015石巻大会」(主催・青少年のたの科学の祭典)が8月9日、本学キャンパスで

「青少年のための科学の祭典2015石巻大会」(主催・青少年のたの科学の祭典)が8月9日、本学キャンパスで